

金属系・窯業系屋根用塗料

メタセラシリコン

シリーズ

弱溶剤アクリルシリコン樹脂 一液型

メタセラシリコンⅠ

スタンダードタイプ

弱溶剤アクリルシリコン樹脂 一液型

遮熱メタセラシリコンⅠ

スタンダードタイプ

弱溶剤アクリルシリコン樹脂 二液型

メタセラシリコンⅡ

ハイグレードタイプ

弱溶剤アクリルシリコン樹脂 二液型

遮熱メタセラシリコンⅡ

ハイグレードタイプ

用途

- ・金属系（鋼板屋根・トタン屋根・亜鉛鉄板・ガルバニウム鋼板）の屋根
- ・窯業系（新生瓦・プレスセメント瓦・波型スレート）の屋根
- ・鉄骨構造物等

特長

1. 仕上がり

緻密な高分子量の樹脂を採用しているため、ベタツキのない塗膜に仕上がり、防汚性に優れます。（写真1）

2. 耐候性

塗膜は、紫外線により発生する活性酸素等によって劣化します。その紫外線をブロックする光安定剤ハリスを採用しているため、優れた耐候性を発揮します。（図1）

3. 遮熱性

遮熱メタセラシロンは下塗り・中塗りに白色を使用せずに、遮熱色の2回塗りで JIS K 5675 屋根用高日射反射率塗料の規格値に入ります。（当社試験・図2）

4. 工期短縮

ハイグレードのメタセラシロンⅡは、優れた付着性をもち、窯業系の旧塗膜の上に直接塗装できるので、工期短縮になります。

5. 下地を選ばない（適用下地 / 金属系・窯業系・旧塗膜OK）

下塗りの選択により、幅広い下地に対応できます。

6. 防カビ・防藻性

高い防カビ・防藻効力により、長期間屋根を美しく維持させることができます。

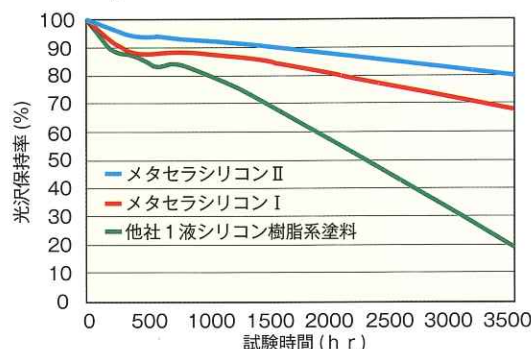
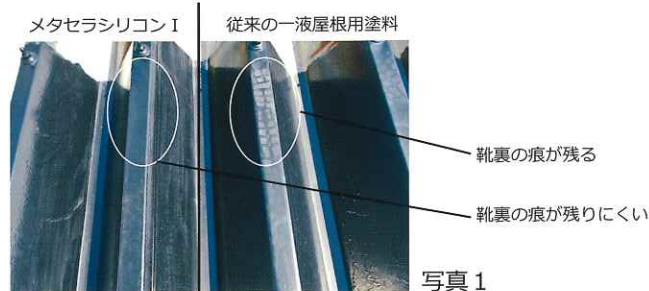
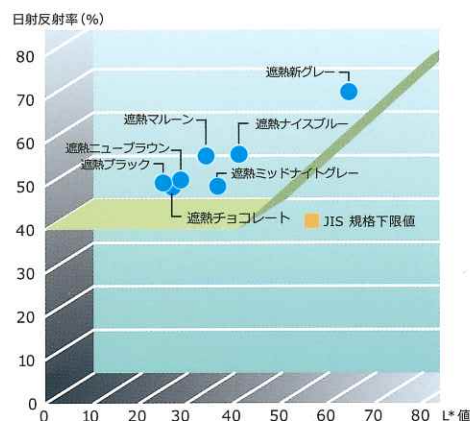


図1. 促進耐候性試験（JIS K 5600-7-7 キセノンランプ法）



※平成23年7月制定の JIS K 5675 「屋根用高日射反射率塗料」の日射反射率の規格合格領域は、グラフ内の JIS 規格下限値の上側の領域の数値となります。

図2. 近赤外波長域日射反射率

内容量・荷姿・配合比・塗り面積

	製品名	内容量 (荷姿)	配合比 (重量比)	塗り面積 (1缶または1セット当たり)	適用下地
下塗り材	アトムマイルドシーラー浸透型	15kg/ 石油缶	—	93 ~ 125 m ² / 回	窯業系
	アトムメタルエポサビ	15kg/ 石油缶 4kg/ 丸缶	—	15kg : 115 ~ 136 m ² / 回 4kg : 30 ~ 36 m ² / 回	金属系
	アトムエポガードプライマー	15kg ^{セット} 主剤 : 12.5kg/ 石油缶 硬化剤 : 2.5kg/ 4L 缶	主剤 : 硬化剤 5 : 1	75 ~ 83 m ² / 回	
上塗り材	メタセラシロンⅠ	15kg/ 石油缶	—	100 ~ 136 m ² / 回 ※	金属系 または 窯業系
	メタセラシロンⅡ	14kg ^{セット} 主剤 : 12kg/ 石油缶 硬化剤 : 2kg/ 2L 缶	主剤 : 硬化剤 6 : 1	93 ~ 127 m ² / 回 ※	
	遮熱メタセラシロンⅠ	15kg/ 石油缶	—	100 ~ 136 m ² / 回 ※	
	遮熱メタセラシロンⅡ	14kg ^{セット} 主剤 : 12kg/ 石油缶 硬化剤 : 2kg/ 2L 缶	主剤 : 硬化剤 6 : 1	93 ~ 127 m ² / 回 ※	

※塗装する下地により塗布量が異なるため、塗り面積が変わります。

標準施工仕様

■メタセラシリコンⅠ・遮熱メタセラシリコンⅠ

標準施工仕様

窯業系 屋根	工 程	製 品 名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/㎡)	塗装間隔 (23℃)
	下地処理	(1) 浮いた塗膜や付着が低下した旧塗膜を完全に取り除く。 (2) 土やほこり、藻等を高圧水洗やデッキブラシ等で完全に取り除く。 (3) 水洗により塗る面を清掃する。 (4) 素地を十分に乾燥させる。(2 日以上)				
	下塗り	アトムマイルドシーラー浸透型	塗料用シンナーA	0～5	0.12～0.16	3 時間以上
	上塗り①	メタセラシリコンⅠまたは 遮熱メタセラシリコンⅠ	塗料用シンナーA	5～15	0.12～0.15	3 時間以上
	上塗り②	メタセラシリコンⅠまたは 遮熱メタセラシリコンⅠ	塗料用シンナーA	5～15	0.12～0.15	—

※洋風瓦（モニエル瓦等）の塗装につきましては、当社までお問い合わせください。

※いずれの工程もハケ・ローラー・スプレー塗装ができます。塗装する場合は、周囲への養生を充分に行ってください。

※吸い込みの激しい場合、雪の多い所ではアトムマイルドシーラー浸透型の塗装回数を増やしてください。

※塗布量は、希釈前の数値です。希釈後は希釈量に応じて塗布量を調整してください。

金属系 屋根	工 程	製 品 名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/㎡)	塗装間隔 (23℃)
	下地処理	(1) サビの発生している部分・剥がれている旧塗膜およびその周辺部分はディスクサンダー等の電動工具と 手工具を併用して除去する。 (2) 高圧水洗 (150kg/c㎡以上) およびデッキブラシ等でゴミ・チョーキング等を取り除く。 (3) 水洗後、素地を完全に乾燥させる。				
	下塗り	アトムメタルエポサビ	塗料用シンナーA	0～10	0.11～0.13	2 時間以上
	上塗り①	メタセラシリコンⅠまたは 遮熱メタセラシリコンⅠ	塗料用シンナーA	5～15	0.11～0.13	3 時間以上
	上塗り②	メタセラシリコンⅠまたは 遮熱メタセラシリコンⅠ	塗料用シンナーA	5～15	0.11～0.13	—

※瀝青質塗料の旧塗膜がある場合は、当社までお問い合わせください。

※塩ビ鋼板屋根の塗り替えには、使用しないでください。

※いずれの工程もハケ・ローラー・スプレー塗装ができます。塗装する場合は、周囲への養生を充分に行ってください。

※塗布量は、希釈前の数値です。希釈後は希釈量に応じて塗布量を調整してください。

※アトムエポガードプライマーは、メタセラシリコンⅠ・遮熱メタセラシリコンⅠの下塗りには使用出来ません。

■メタセラシリコンⅡ・遮熱メタセラシリコンⅡ

標準施工仕様

窯業系 屋根	工 程	製 品 名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/㎡)	塗装間隔 (23℃)
	下地処理	(1) 浮いた塗膜や付着が低下した旧塗膜を完全に取り除く。 (2) 土やほこり、藻等を高圧水洗やデッキブラシ等で完全に取り除く。 (3) 水洗により塗る面を清掃する。 (4) 素地を十分に乾燥させる。(2 日以上)				
	上塗り①	メタセラシリコンⅡまたは 遮熱メタセラシリコンⅡ	塗料用シンナーA	5～15	0.12～0.15	3 時間以上
	上塗り②	メタセラシリコンⅡまたは 遮熱メタセラシリコンⅡ	塗料用シンナーA	5～15	0.12～0.15	—

※洋風瓦（モニエル瓦等）の塗装につきましては、当社までお問い合わせください。

※いずれの工程もハケ・ローラー・スプレー塗装ができます。塗装する場合は、周囲への養生を充分に行ってください。

※吸い込みの激しい場合、メタセラシリコンⅡ又は遮熱メタセラシリコンⅡを 30～40%希釈（重量%）して下塗りの前に塗装してください。

※塗布量は、希釈前の数値です。希釈後は希釈量に応じて塗布量を調整してください。

金属系 屋根	工 程	製 品 名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/㎡)	塗装間隔 (23℃)
	下地処理	(1) サビの発生している部分・剥がれている旧塗膜およびその周辺部分はディスクサンダー等の電動工具と 手工具を併用して除去する。 (2) 高圧水洗 (150kg/c㎡以上) およびデッキブラシ等でゴミ・チョーキング等を取り除く。 (3) 水洗後、素地を完全に乾燥させる。				
	下塗り	アトムエポガードプライマー	合成シンナー No.50	0～5	0.18～0.20	16 時間以上
	上塗り①	メタセラシリコンⅡまたは 遮熱メタセラシリコンⅡ	塗料用シンナーA	5～15	0.11～0.13	3 時間以上
	上塗り②	メタセラシリコンⅡまたは 遮熱メタセラシリコンⅡ	塗料用シンナーA	5～15	0.11～0.13	—

※瀝青質塗料の旧塗膜がある場合は、当社までお問い合わせください。

※塩ビ鋼板屋根の塗り替えには、使用しないでください。

※いずれの工程もハケ・ローラー・スプレー塗装ができます。塗装する場合は、周囲への養生を充分に行ってください。

※塗布量は、希釈前の数値です。希釈後は希釈量に応じて塗布量を調整してください。

メタセラシリコンシリーズは、幅広い下地に適用でき、耐候性、防カビ・防藻性に優れています。
また、塗膜のベタツキもない塗膜を形成するため、防汚性にも優れています。

【注意事項】

1. 塗装（施工）前の注意

- 1) 気温が5℃以下、湿度が85%以上の場合および翌日までに降雨が予想される場合は、塗膜の乾燥過程で種々の不具合が発生することがありますので、塗装を避けてください。
- 2) 下地調整は、塗料の付着力を決定する重要な工程ですので、確実に実施してください。処理不足の場合、被塗物との密着不良の原因となります。

2. 塗装（施工）中の注意

- 1) 気象の変化により下地や塗膜面に結露が生じた場合は直ちに施工を中止してください。
また昼と夜の温度差が大きい時期は、結露によるつや引け現象が発生しやすいので時間を考慮して塗装してください。
- 2) 結露・降雨等により下地が濡れている場合には、十分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- 3) 塗装中は換気を良くし、火気の取扱いは厳禁としてください。
- 4) 取扱い時には保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用してください。
万一、皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹸で優しく洗い、皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当を受けてください。
- 5) 二液性塗料の計量・混合攪拌は、はかりおよび電動攪拌機を用いて行い、可使用時間（ポットライフ）にも充分注意して塗装してください。
- 6) 塗料を小分けする場合は、小分け前に充分攪拌し均一にした後、主剤・硬化剤の配合（重量比）を守るようにはかりで正確にはかり取り、その後混合攪拌を行ってください。
- 7) 有機溶剤を含んだ塗料のため、火気、高温物付近での使用は避け、電気のスパークにも注意してください。

3. 塗装（施工）後の注意

- 1) 湿度が高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。

4. 全般的注意

- 1) 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS（安全データシート）・施工仕様書をよくお読みください。
- 2) 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 3) 改良等のため①製品の中身・仕様②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- 4) 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- 5) 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。
またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

ドローンで空撮 屋根をチェック！



アトム サーベイ システム

〈ドローン×システム×ペイント〉



調査・計測を高精度な
3Dモデルで実現

※屋根の調査をご希望の方は当社までお問い合わせください。

アトムクス株式会社 塗料事業部

<http://www.atomix.co.jp>

〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL 03-3969-3125(直通) FAX 03-3968-7300

検索 メタセラシリコン



- 本社 〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6
- 加須受注センター 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内)
- 大阪支店 〒574-0053 大阪府大東市新田旭町2-22
- 仙台営業所 〒982-0011 仙台市太白区長町6-8-7(ハイコートアイ1F)
- 新潟営業所 〒905-0982 新潟市中央区堀之内南2-19-14(和合ビル)
- 横浜営業所 〒224-0033 横浜市中区茅ヶ崎東3-17-43
- 名古屋営業所 〒462-0043 名古屋市中区北八代町1-9(北村ビル2F)
- 広島営業所 〒739-1734 広島市安佐北区口田1-8-17(小夫妻ビル)
- 福岡営業所 〒812-0863 福岡市博多区金の隈1-33-31
- 加須工場 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内)

- TEL 03-3969-3111(代表)
- TEL 0480-65-1154
- TEL 072-872-3111
- TEL 022-249-7371
- TEL 025-244-8011
- TEL 045-943-8911
- TEL 052-914-3900
- TEL 082-845-2202
- TEL 092-503-5200
- TEL 0480-65-1159

- FAX 03-3968-7300
- FAX 0480-65-6909
- FAX 072-872-1222
- FAX 022-249-7372
- FAX 025-244-8012
- FAX 045-943-8912
- FAX 052-916-0892
- FAX 082-845-2203
- FAX 092-503-5308
- FAX 0480-65-7146